

樹木診断報告書 【抜粋】

委託件名： 深沢小学校樹木診断委託

樹 種： キリ、イチヨウ、サクラ

所在地： 深沢小学校（所在地：新町 1-4-24）

ミツメル株式会社
代表取締役 鶴田 竜児

1. 概 要

- 1) 件 名 深沢小学校樹木診断委託
- 2) 目 的 学校の敷地内にある樹木の健康状態の診断をするため
- 3) 実施数量
 - ・外観診断(キシラカシ C=170cm 1本
 - ・機器診断(キリ、イチヨウ、サクラ、アーボソニック 3D 使用、1 断面/本):3本
- 5) 受 託 者 東京都世田谷区宇奈根2-3-5
ミツメル株式会社

診断及び報告書作成

樹木医 川瀬 裕一郎 (登録番号 第1767号)

2. 現場調査

1. 対象木の確認

監督員の指示に従って現地調査において、樹木の確認を行った。

2. 外観診断

外観診断は、目視と簡易な道具によって樹木の外観を観察することによって行った。

①調査方法

目視を中心にして、木槌、鋼棒、シャベル、ルーペなど簡易な道具を用いて行った。

②調査項目

樹勢、樹形、幹や根元などについて目視を中心に樹木の活力、各部における腐朽、空洞の有無とその程度、キノコ発生の有無、木槌打診音の異常の有無、虫害の有無、ルートカラーの露出の有無、鋼棒の貫入状況を、調査した。

3. 樹木診断カルテの作成

①樹木概要

樹種名、診断日、形状寸法などを記入した。

活力については、樹勢及び樹形によって診断した。

下表より5段階で診断した。

診断項目	活 力 度				
	1	2	3	4	5
樹 勢	旺盛な生育状態を示し被害が全く見られない	いくぶん被害の影響を受けているがあまり目立たない	異常があきらかに認められる	生育状況が劣悪で回復の見込みがない	ほぼ枯死している
樹 形	望ましい樹形を保っている。	若干の乱れはあるが、望ましい樹形に近い	望ましい樹形の崩壊がかなり進んでいる	望ましい樹形がほぼ、崩壊し奇形化し、回復の見込みがない	望ましい樹形が完全に崩壊している

②健全度判定

現地調査時の診断結果を下記判定基準表に従って判定し、診断カルテに記入した。

健全度判定は、外観版定評の判定で全て、概ね異常なしの場合は、A:健全とし

1つでも今後観察が必要となった場合は、B1:注意すべき被害あり B2:著しい被害あり、

1つでも撤去が必要となった場合はC:不健全とした。

樹木健全度判定基準表

健全度 A : 健全か健全に近い	樹勢及び樹形の活力度が1または2であり、その他の項目に異常が無いか、材質腐朽などの被害も軽微なもの。 その他の異常についても、局所的あるいは軽微で当面処置の必要が無いもの。
健全度 B1 : 注意すべき被害が見られる	樹勢または樹形の活力度が3の段階であるもの。 もしくは、今後活力の低下や腐朽の進行が予測され、その他の項目についても被害が各種見られ、注意を要するもの。
健全度 B2 : 著しい被害が見られる	樹勢または樹形の活力度が4の段階であるもの。 もしくは、幹や根の腐朽が著しく進行し、その他の項目においても被害が見られ、何らかの処置を施さないかぎり回復の可能性が低いもの。
健全度 C : 不健全	樹勢及び樹形の活力度が5の段階であるもの。もしくは、幹や根の腐朽が著しく、極めて不健全な状態で回復の見込みが無いもの。また、倒木や幹折れの危険があるもの。

2.精密診断

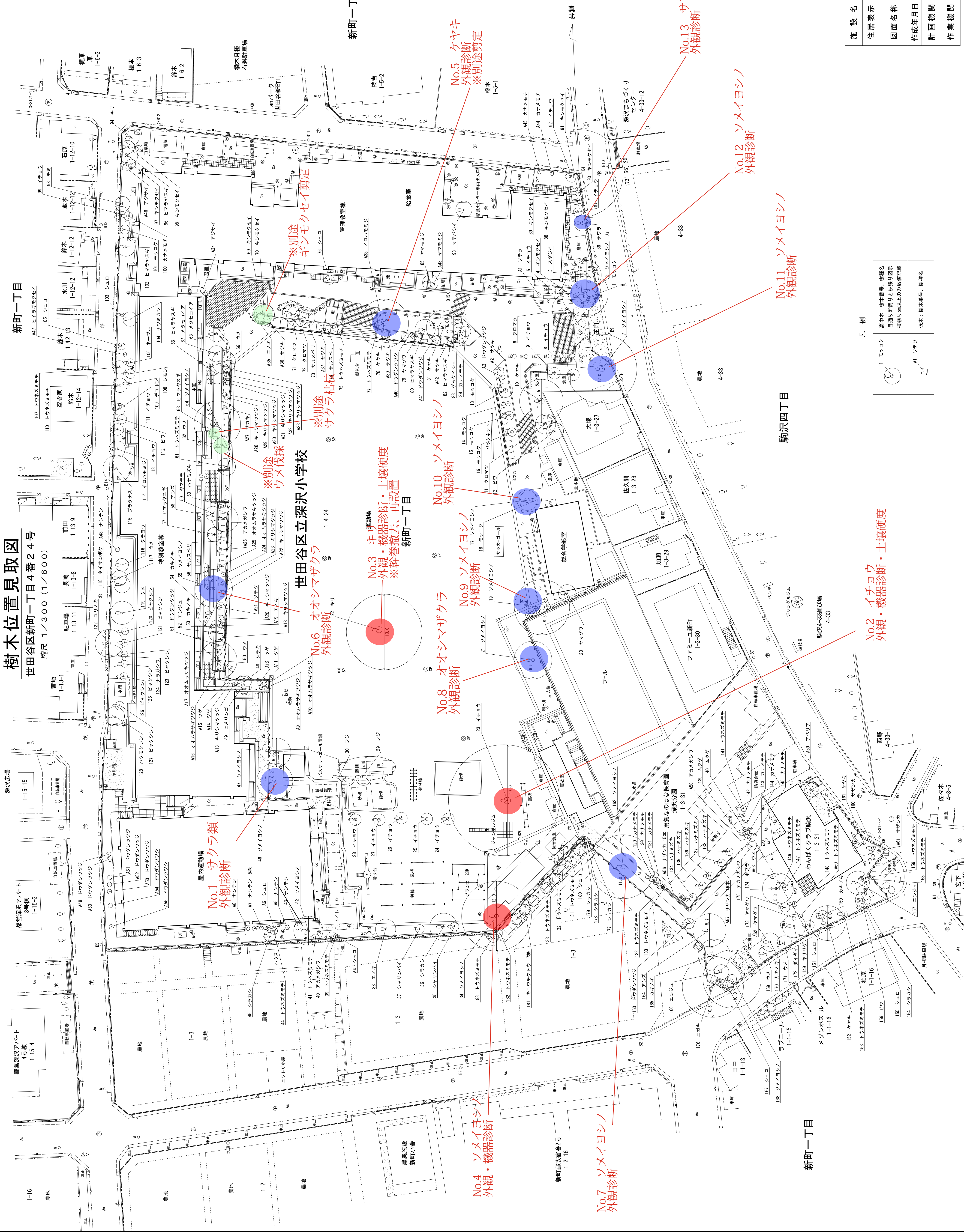
精密診断は、多点式応力波速度測定器ファコップ アーボソニック3D,及びを使用して測定を行った。

腐朽度判定基準

判 定	空洞腐朽率
A 健全か健全に近い	10%未満
B1 注意すべき被害	30%未満
B2 著しい被害	30%以上50%未満
C 不健全	50%以上

樹木位置見取図

世田谷区新町一丁目4番24号
縮尺 1/300 (1/600)



凡 例

記 号	名 称
3-◎	世田谷区緑地基準点
B○	4級基準点
[]	校舎等
[]	家 屋
[]	無蓋舎
[]	舗装地等
[]	階段
[]	スロープ
[]	コンクリート版
○	コンクリート舗装
A6	アスファルト舗装
[]	ブロック等
[]	フェンス、柵及び垣
[]	コンクリート塀
[]	コンクリート土留
[]	万年塀
[]	石 塀
[]	掘土土留
[]	石積コンクリート土留
[]	門 扉
[]	ガードパイプ
[]	L形溝
[]	L形溝さきぎき
[]	U形溝 (コンクリート製)
[]	U形溝 (グレーチング製)
[]	下水人孔
[]	U形溝排水溝
[]	電気孔
[]	マ ス
[]	ガス 栓
[]	止水栓・排水弁
[]	散水ブリッククラ
[]	散水用ハンドホ
[]	排水用トイレ
[]	防火水槽
[]	消火栓
[]	電 柱
[]	電 柱
[]	街 灯
[]	欄 干
[]	カーブミラー
[]	独立樹、高木
[]	低木又は緑地状
[]	生 垣
[]	プランター
[]	エアコン室外機

施 設 名 世 田 谷 区 立 深 沢 小 学 校

住 居 表 示	世田谷区新町一丁目4番24号
図 面 名 称	樹木位置見取図
縮 尺	()はA3縮小時
作成年月日	令和5年 2月28日
計画機関	世田谷区教育委員会事務局教育環境課
作業機関	丸 二 測 量 設 計 株 式 会 社

凡 例

1. モッコク	高木・樹木番号、樹種名 日通り幹周りと枝張り図示 枝張り50以上のみ数値記載
A1. ソメイヨシノ	低木・樹木番号、樹種名

診断カルテ

様式3表面

No. 2

事務所名 教育環境課

施設名	深沢小学校	樹木医	川瀬 裕一郎(No.1767)	診断日	2026/3/24		
樹木番号		H=	20.0 m	C=	350 cm	W=	11.2 m(根元周 370 cm)
樹種名	イチヨウ	植栽形態	☐ 単独樹 ☐ 植栽帯 ☐ 緑地内 ☒ その他	支柱	☐ 良好 ☒ なし ☐ 破損		

活
力
診
断

樹勢	枝の伸長量、梢端の枯損、枝の枯損、葉の密度、葉の大きさ、葉色等			良 ← ☐ 1 ☒ 2 ↓ ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 → 不良	
樹形	主幹・骨格となる大枝・枝などの枯損及び欠損、枝の密度と配置等			☐ 1 ☒ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5	
所見					
活力判定	☐ 健全か健全に近い ☒ 注意すべき被害が見られる ☐ 著しい被害が見られる ☐ 不健全				
診断内容	部位	根元	幹	骨格となる大枝	
樹皮枯死・欠損・腐朽 (周囲長比率)	☒ なし ☐ 1/3未満 ☐ 1/3以上	☒ なし ☐ 1/3未満 ☐ 1/3以上	☒ なし ☐ 1/3未満 ☐ 1/3以上	☐ なし ☒ 1/3未満 ☐ 1/3以上	
芯に達していない開口空洞 (周囲長比率)	☒ なし ☐ 1/3未満 ☐ 1/3以上	☒ なし ☐ 1/3未満 ☐ 1/3以上	☒ なし ☐ 1/3未満 ☐ 1/3以上	☒ なし ☐ 1/3未満 ☐ 1/3以上	
芯に達した開口空洞 (周囲長比率)	☒ なし ☐ 1/3未満 ☐ 1/3以上	☒ なし ☐ 1/3未満 ☐ 1/3以上	☒ なし ☐ 1/3未満 ☐ 1/3以上	☒ なし ☐ 1/3未満 ☐ 1/3以上	
上記3項目のうち 最大被害部の周囲長比率	被害部幅 30	被害部周囲長 250	周囲長比率 = 12 %	被害部幅 = %	枯枝 ☒ なし ☐ あり(大・中・小) スタブカット ☒ なし ☐ あり(大・中・小)
キノコ(子実体)	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	
木槌打診(異常音)	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	
分岐部・付根の異常	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	
胴枯れなどの病害	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	
虫穴・虫フン、ヤニ	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	
根元の揺らぎ	☒ なし ☐ あり()	建築限界を超え 車道側		建築限界を超え 歩道側	
鋼棒貫入異常	☒ なし ☐ あり()	幹	☒ なし ☐ あり	幹 ☒ なし ☐ あり	
巻き根	☒ なし ☐ あり()	()	()	()	
ルートカラー	☒ 見える ☐ 見えない()	枝	☒ なし ☐ あり	枝 ☒ なし ☐ あり	
露出根被害	☒ なし ☐ あり()	()	()	()	
不自然な傾斜	☒ なし ☐ あり()				
所見	大枝: 接触。からみ枝あり。 大枝: 樹皮欠損、腐朽 30×20(枯下り)。 大枝: 樹皮欠損、腐朽 30×10。 大枝: 樹皮欠損、腐朽 50×20。 幹: 閉塞30cm。 幹、根元: 閉塞60cm、30cm。				
部位判定	部位	根元	幹	骨格となる大枝	
健全か健全に近い		☐	☐	☐	
注意すべき被害が見られる		☒	☐	☒	
著しい被害が見られる		☐	☐	☐	
不健全		☐	☐	☐	
処置	剪定が必要	☐	☐	☐	
	機器診断が必要	☒	☐	☐	
外観診断判定	☐ A: 健全か健全に近い ☒ B1: 注意すべき被害が見られる ☐ B2: 著しい被害が見られる ☐ C1: 不健全				
判定理由	大枝: 樹皮欠損、腐朽 50×20。 幹、根元: 閉塞60cm、30cm。				

機
器
診
断

測定データ	部位(GL+ 0.3 m)	腐朽空洞率 67.0 %	t/R率: ① ② ③ ④
測定データ	部位(GL+ m)	腐朽空洞率 %	t/R率: ① ② ③ ④
判定理由	根元内部に大きな異常が認められた。腐朽率は倒木の目安となる50%を超えている。		

総
合
判
定

総合判定	☐ A: 健全か健全に近い ☐ B1: 注意すべき被害が見られる ☐ B2: 著しい被害が見られる ☒ C1: 不健全
判定理由	倒木の可能性が高く植替え検討が必要。

No. 2

処 置	必要性	☐ なし	☒ あり	緊急性	☐ なし	☒ あり	
		☐ 要観察(長期周期)		☒ 要観察(短期周期)			
	☒ 剪定(	☐ 枯枝	☐ 腐朽枝等	☐ 支障枝	☒ 風圧軽減	☐ スタブカット	☐ 巻き根
	☒ 樹体保護(	支柱設置		)			
	☐ 根上がり(			)			
	☐ 更新(			)			
摘 要	根元内部に大きな異状が認められ植替え検討が必要。 存知期間がある場合は、軽減剪定及び支柱設置等の倒木防止の措置が必要。						

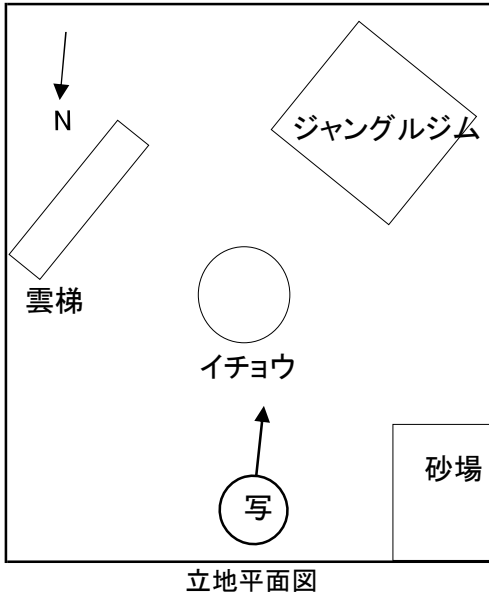


写真1 大枝: 接触



写真2 大枝: 接触



写真3 幹、根元: 閉塞60cm、30cm

その他特記事項	
次回診断	☐ フォローアップ診断 (☐ 要機器診断 測定部位) ☐ 外観診断
次回診断時期	☐ 1年後 ☐ 3年後 ☐ 5年後 (年度)
位置座標(WGS84)	緯度 35.626730 経度 139.652135 連番 01079

腐朽診断カルテ（アーボソニック3D）

連番: M01079

樹木診断カルテ番号: 2

事務所名:

教育環境課

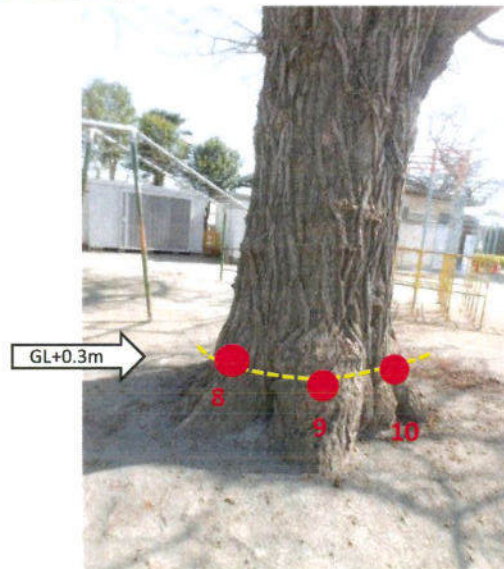
公園名	深沢小学校	樹木医名	川瀬 裕一郎(No.1767)				診断日	2026/3/24		
樹木番号		樹種名	イチヨウ	樹高	20.0 m	幹周	350 cm	枝張	11.2 m	

測定高さ	GL+ 0.3 m	周囲長	464 cm	プロブ数	10	機種名	アーボソニック3D
------	-----------	-----	--------	------	----	-----	-----------

測定位置写真



被害状況写真



腐朽 空洞率 (%)	67 %		被害 内容	幹、根元: 閉塞60cm。
------------------	------	--	----------	---------------

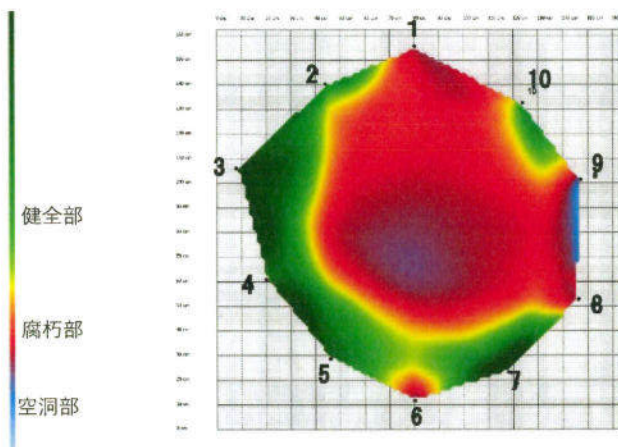
腐朽度 判定	☐ 10%未満 (健全か健全に近い:A)	☐ 10%以上 (注意すべき被害:B1)	☐ 30%以上50%未満 (著しい被害:B2)	☒ 50%以上 (不健全:C)
-----------	--	--	---	--

所見	
----	--

幹内部に大きな異常が認められた。腐朽率は倒木の目安となる50%を超えている。倒木の危険性が高く早急な植替え検討が必要。

測定結果

▲ 北側

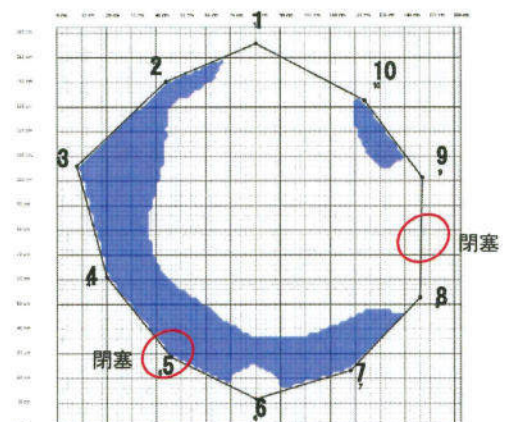


▼ 南側

想定断面図(2D)

▲ 北側

■ 健全部

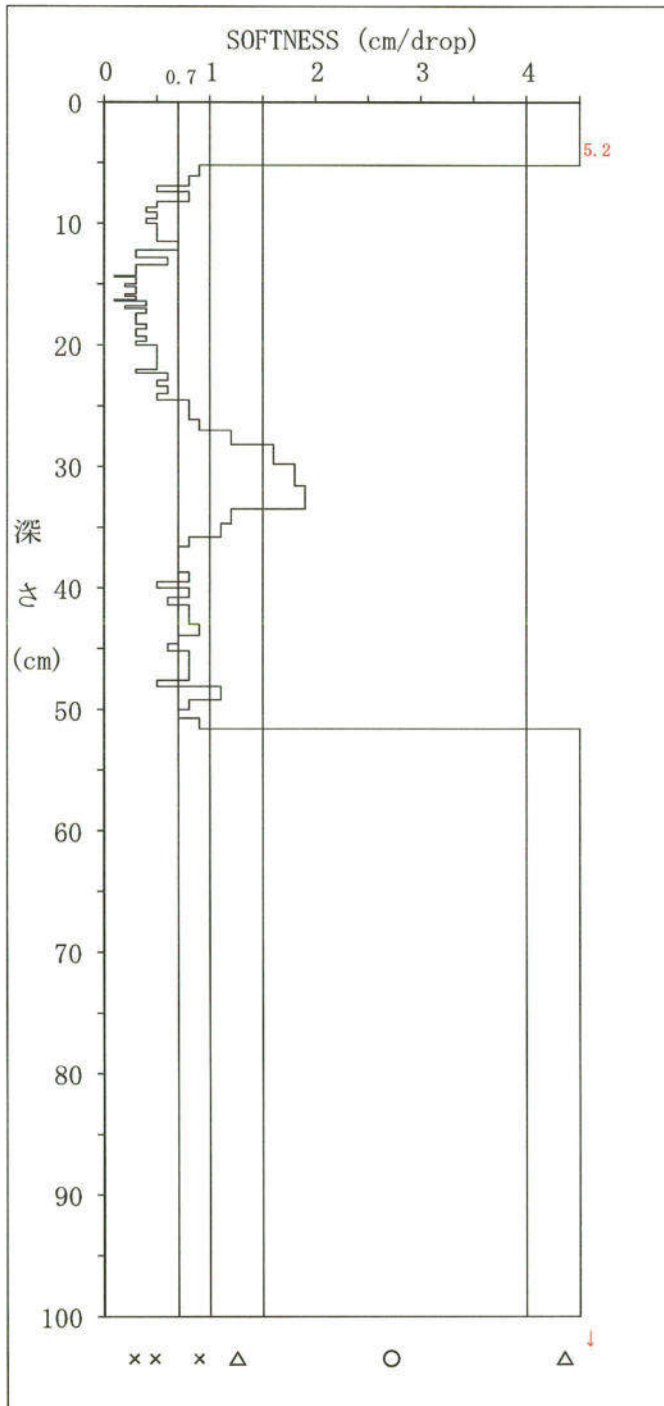


▼ 南側

健全部推定範囲

長谷川式土壌貫入試験

調査名	深沢小学校		
試験者名	川瀬 裕一郎	試験年月日	2026年03月24日
試験場所	イチョウ	番号	No. 1
落錘落下高	50cm		



回数	積算 貫入量(cm)	回数	積算 貫入量(cm)	回数	積算 貫入量(cm)	回数	積算 貫入量(cm)
1	5.2	61	38.7	121		181	
2	6.1	62	39.5	122		182	
3	6.9	63	40.0	123		183	
4	7.4	64	40.8	124		184	
5	8.2	65	41.4	125		185	
6	8.7	66	42.2	126		186	
7	9.1	67	43.0	127		187	
8	9.6	68	43.9	128		188	
9	10.0	69	44.6	129		189	
10	10.5	70	45.2	130		190	
11	11.0	71	46.0	131		191	
12	11.5	72	46.8	132		192	
13	12.2	73	47.6	133		193	
14	12.5	74	48.1	134		194	
15	12.8	75	49.2	135		195	
16	13.4	76	50.0	136		196	
17	13.7	77	50.7	137		197	
18	14.0	78	51.6	138		198	
19	14.3	79	102.8	139		199	
20	14.4	80	103.5	140		200	
21	14.7	81		141		201	
22	15.0	82		142		202	
23	15.2	83		143		203	
24	15.5	84		144		204	
25	15.8	85		145		205	
26	16.0	86		146		206	
27	16.3	87		147		207	
28	16.4	88		148		208	
29	16.8	89		149		209	
30	17.0	90		150		210	
31	17.4	91		151		211	
32	17.7	92		152		212	
33	18.0	93		153		213	
34	18.3	94		154		214	
35	18.7	95		155		215	
36	19.0	96		156		216	
37	19.3	97		157		217	
38	19.7	98		158		218	
39	20.0	99		159		219	
40	20.5	100		160		220	
41	21.0	101		161		221	
42	21.5	102		162		222	
43	22.0	103		163		223	
44	22.3	104		164		224	
45	22.9	105		165		225	
46	23.4	106		166		226	
47	24.0	107		167		227	
48	24.5	108		168		228	
49	25.3	109		169		229	
50	26.1	110		170		230	
51	27.0	111		171		231	
52	28.2	112		172		232	
53	29.8	113		173		233	
54	31.6	114		174		234	
55	33.5	115		175		235	
56	34.7	116		176		236	
57	35.8	117		177		237	
58	36.6	118		178		238	
59	37.3	119		179		239	
60	38.0	120		180		240	

No.	3	事務所名	教育環境課
施設名	深沢小学校	樹木医	川瀬 裕一郎(No.1767)
樹木番号		診断日	2026/3/24
樹種名	キリ	H=	16.0 m
		C=	400 cm
		W=	11.9 m(根元周 440 cm)
植栽形態	☐ 単独樹 ☐ 植栽帯 ☐ 緑地内 ☒ その他	支柱	☐ 良好 ☐ なし ☒ 破損

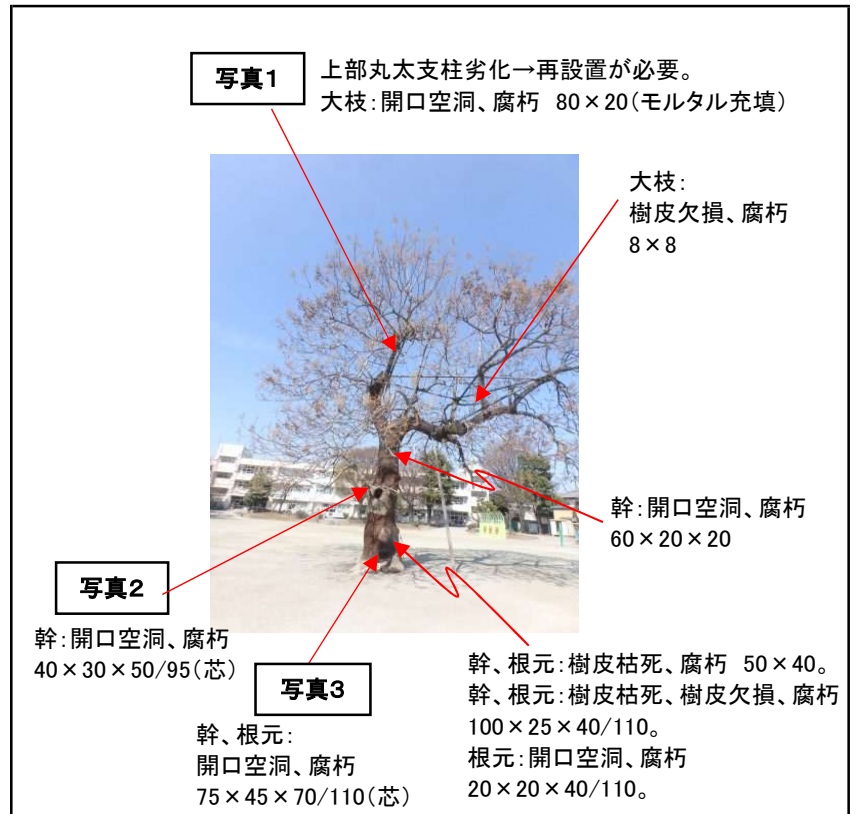
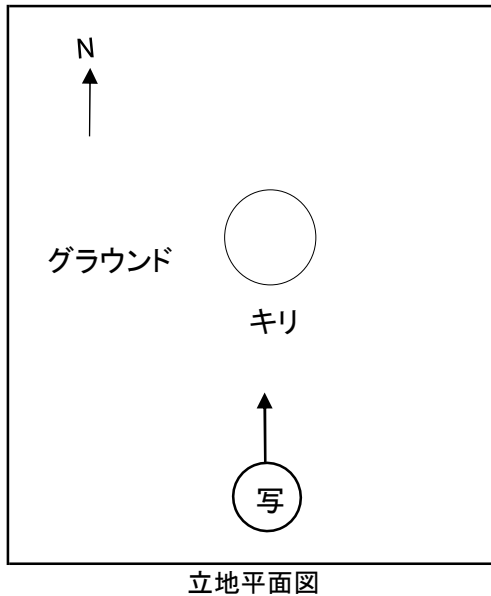
外観診断	樹勢	枝の伸長量、梢端の枯損、枝の枯損、葉の密度、葉の大きさ、葉色等			良	☐ 1 ☒ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5	不良
	樹形	主幹・骨格となる大枝・枝などの枯損及び欠損、枝の密度と配置等				☐ 1 ☒ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5	
	所見						
	活力判定	☐ 健全か健全に近い ☒ 注意すべき被害が見られる ☐ 著しい被害が見られる ☐ 不健全					
	診断内容	部位	根元	幹	骨格となる大枝		
	樹皮枯死・欠損・腐朽(周囲長比率)	☐ なし ☒ 1/3未満 ☐ 1/3以上	☒ なし ☐ 1/3未満 ☐ 1/3以上	☒ なし ☐ 1/3未満 ☐ 1/3以上	☒ なし ☐ 1/3未満 ☐ 1/3以上		
	芯に達していない開口空洞(周囲長比率)	☐ なし ☒ 1/3未満 ☐ 1/3以上	☐ なし ☒ 1/3未満 ☐ 1/3以上	☒ なし ☐ 1/3未満 ☐ 1/3以上	☒ なし ☐ 1/3未満 ☐ 1/3以上		
	芯に達した開口空洞(周囲長比率)	☒ なし ☐ 1/3未満 ☐ 1/3以上	☐ なし ☒ 1/3未満 ☐ 1/3以上	☐ なし ☒ 1/3未満 ☐ 1/3以上	☐ なし ☒ 1/3未満 ☐ 1/3以上		
	上記3項目のうち最大被害部の周囲長比率	被害部幅 40 / 被害部周囲長 440 = 9.09 %	被害部幅 45 / 被害部周囲長 400 = 11.25 %	枯枝	☐ なし ☒ あり(大・中・小)	スタブカット ☒ なし ☐ あり(大・中・小)	
	キノコ(子実体)	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()		
木槌打診(異常音)	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()			
分岐部・付根の異常	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()			
胴枯れなどの病害	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()			
虫穴・虫フン、ヤニ	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()	☒ なし ☐ あり()			
根元の揺らぎ	☒ なし ☐ あり()	建築限界超え 車 道 側		建築限界超え 歩 道 側			
鋼棒貫入異常	☒ なし ☐ あり()	幹	☒ なし ☐ あり	幹	☒ なし ☐ あり		
巻き根	☒ なし ☐ あり()	()		()			
ルートカラー	☒ 見える ☐ 見えない()	枝	☒ なし ☐ あり	枝	☒ なし ☐ あり		
露出根被害	☐ なし ☒ あり(樹皮欠損、腐朽)	()		()			
不自然な傾斜	☒ なし ☐ あり()						
所見	上部丸太支柱劣化→再設置が必要。 大枝：開口空洞、腐朽 80×20(モルタル充填)。 大枝：樹皮欠損、腐朽 8×8。 幹：開口空洞、腐朽 60×20×20。 幹：開口空洞、腐朽 40×30×50/95(芯)。 幹：こぶ。 幹、根元：開口空洞、腐朽 75×45×70/110(芯)。 幹、根元：樹皮枯死、腐朽 50×40。 幹、根元：樹皮枯死、樹皮欠損、腐朽 100×25×40/110。 根元：開口空洞、腐朽 20×20×40/110。 露出根：樹皮欠損、腐朽 80×20。						
部位判定	判定・処置	部位	根元	幹	骨格となる大枝		
健全か健全に近い			☐	☐	☐		
注意すべき被害が見られる			☐	☒	☐		
著しい被害が見られる		☒	☐	☒	☐		
不健全		☐	☐	☐	☐		
処置	剪定が必要		☐	☐	☒		
	機器診断が必要	☒	☒	☒	☐		
外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☒ B2:著しい被害が見られる ☐ C1:不健全						
判定理由	大枝：開口空洞、腐朽 80×20(モルタル充填)。 幹：開口空洞、腐朽 40×30×50/95(芯)。 幹、根元：開口空洞、腐朽 75×45×70/110(芯)。						

機器診断	測定データ	部位(GL+ 0.4 m)	腐朽空洞率 84.0 %	t/R率:	①	②	③	④
	測定データ	部位(GL+ m)	腐朽空洞率 %	t/R率:	①	②	③	④
	判定理由	幹内部に大きな異常が認められた。腐朽率は倒木の目安となる50%を超えている。						

総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C1:不健全
判定理由	幹、根元：開口空洞、腐朽 75×45×70/110(芯)。腐朽率は倒木の目安となる50%を超えている。 倒木の危険性が高く植替え検討が必要。

No. 3

処 置 内 容	必要性	☐ なし	☒ あり	緊急性	☐ なし	☒ あり
	☐ 要観察(長期周期)			☒ 要観察(短期周期)		
	☒ 剪定(☐ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝) ☒ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根					
	☒ 樹体保護(上部丸太支柱の再設置が必要) ☐ 植栽基盤の改善()					
	☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除()					
	☐ 更新() ☐ その他()					
摘 要	根元内部に大きな異状が認められ植替え検討が必要。 存知期間がある場合は、軽減剪定及び支柱設置等の倒木防止の措置が必要。					



診断概要図



写真1 上部丸太支柱劣化
大枝: 開口空洞、腐朽



写真2 幹: 開口空洞、腐朽 (芯)



写真3 幹、根元: 樹皮枯死、樹皮欠損、腐朽
根元: 開口空洞、腐朽

その他特記事項	
次回診断	☐ フォローアップ診断 (☐ 要機器診断 測定部位) ☐ 外観診断
次回診断時期	☐ 1年後 ☐ 3年後 ☐ 5年後 (年度)
位置座標(WGS84)	緯度 35.626956 経度 139.652038 連番 01080

腐朽診断カルテ（アーボソニック3D）

連番: ミ01080

樹木診断カルテ番号: 3

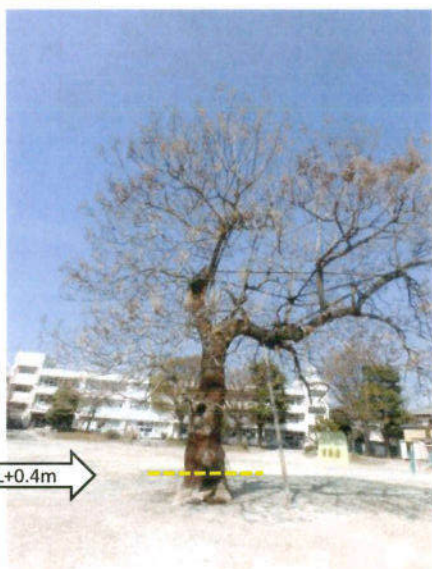
事務所名:

教育環境課

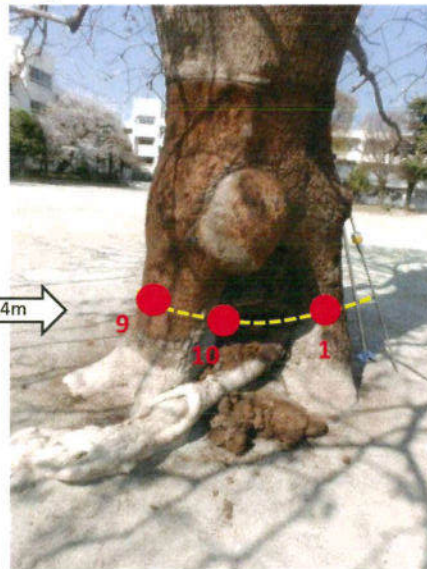
公園名	深沢小学校	樹木医名	川瀬 裕一郎(No.1767)				診断日	2026/3/24		
樹木番号		樹種名	キリ	樹高	16.0 m	幹周	400 cm	枝張	11.9 m	

測定高さ	GL+ 0.4 m	周囲長	440 cm	プロブ数	10	機種名	アーボソニック3D
------	-----------	-----	--------	------	----	-----	-----------

測定位置写真



被害状況写真



腐朽 空洞率 (%)	84 %	被害 内容	根元: 開口空洞、樹皮枯死、樹皮欠損、腐朽。 根元: 開口空洞、腐朽。
------------------	------	----------	--

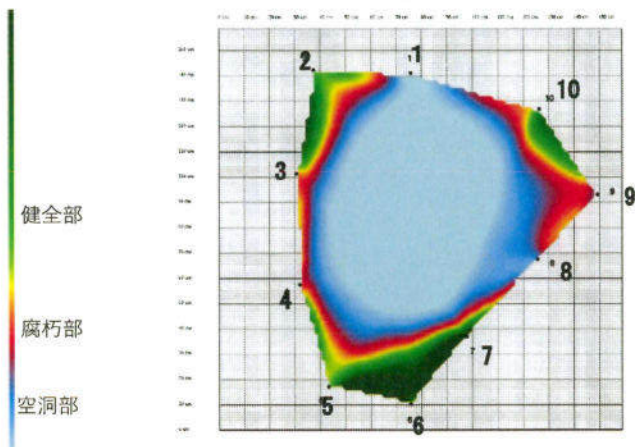
腐朽度 判定	☐ 10%未満 (健全か健全に近い:A)	☐ 10%以上 (注意すべき被害:B1)	☐ 30%以上50%未満 (著しい被害:B2)	☒ 50%以上 (不健全:C)
-----------	--	--	---	--

所見

幹内部に大きな異常が認められた。腐朽率は倒木の目安となる50%を超えている。倒木の危険性が高く早急な植替え検討が必要。

測定結果

▲ 北側

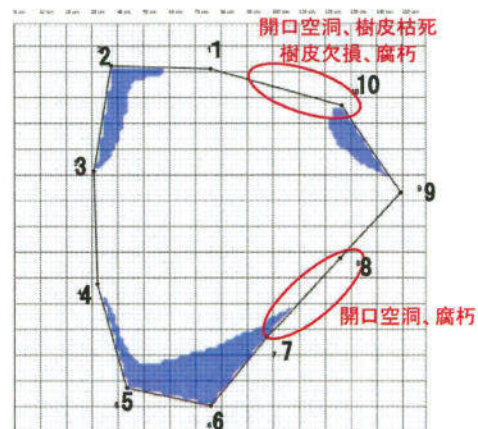


▼ 南側

想定断面図(2D)

▲ 北側

■ 健全部

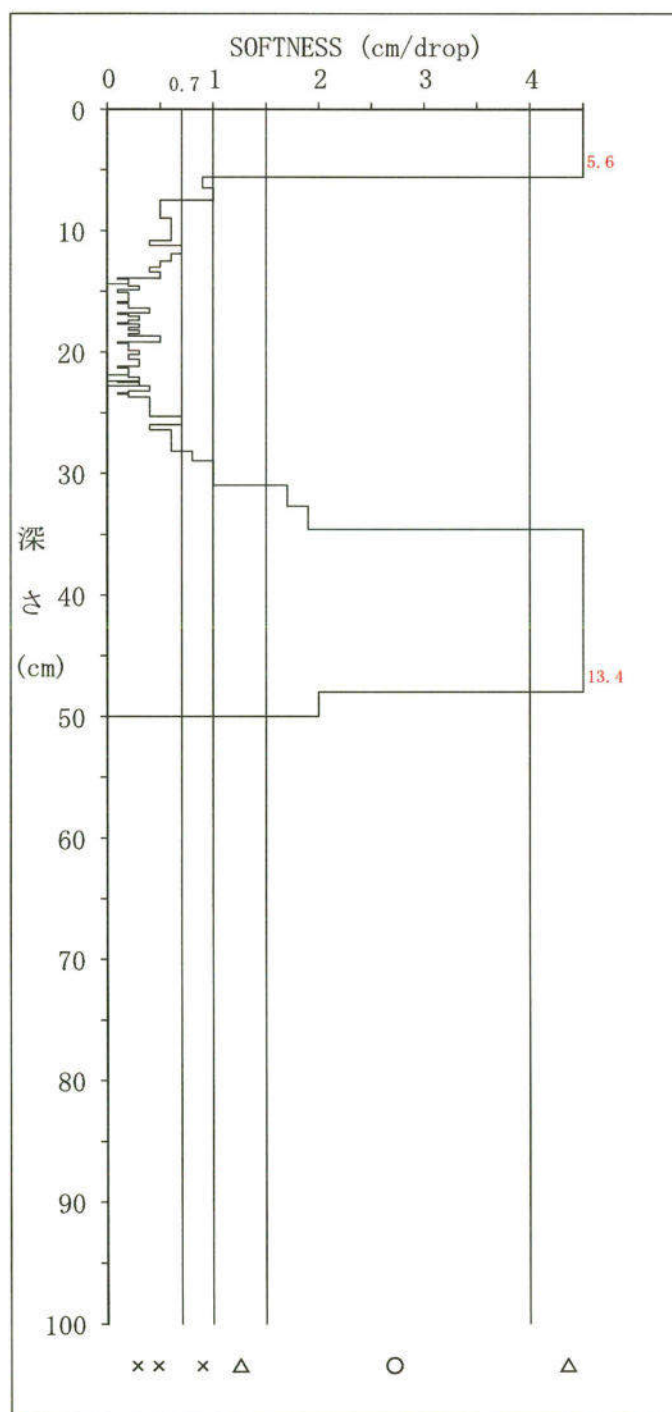


▼ 南側

健全部推定範囲

長谷川式土壌貫入試験

調査名	深沢小学校		
試験者名	川瀬 裕一郎	試験年月日	2026年03月24日
試験場所	キリ	番号	No. 2
落錘落下高	50cm		



回数	積算 貫入量(cm)	回数	積算 貫入量(cm)	回数	積算 貫入量(cm)	回数	積算 貫入量(cm)
1	5.6	61	22.8	121		181	
2	6.5	62	23.2	122		182	
3	7.5	63	23.4	123		183	
4	8.0	64	23.5	124		184	
5	8.5	65	23.7	125		185	
6	9.0	66	24.1	126		186	
7	9.6	67	24.5	127		187	
8	10.2	68	24.9	128		188	
9	10.8	69	25.3	129		189	
10	11.2	70	26.0	130		190	
11	11.9	71	26.4	131		191	
12	12.5	72	27.0	132		192	
13	13.0	73	27.6	133		193	
14	13.4	74	28.2	134		194	
15	13.9	75	29.0	135		195	
16	14.0	76	30.0	136		196	
17	14.2	77	31.0	137		197	
18	14.4	78	32.7	138		198	
19	14.4	79	34.6	139		199	
20	14.6	80	48.0	140		200	
21	14.9	81		141		201	
22	15.0	82		142		202	
23	15.1	83		143		203	
24	15.3	84		144		204	
25	15.5	85		145		205	
26	15.7	86		146		206	
27	15.9	87		147		207	
28	16.0	88		148		208	
29	16.2	89		149		209	
30	16.4	90		150		210	
31	16.8	91		151		211	
32	16.9	92		152		212	
33	17.1	93		153		213	
34	17.4	94		154		214	
35	17.6	95		155		215	
36	17.7	96		156		216	
37	18.0	97		157		217	
38	18.2	98		158		218	
39	18.5	99		159		219	
40	18.7	100		160		220	
41	19.2	101		161		221	
42	19.3	102		162		222	
43	19.5	103		163		223	
44	19.7	104		164		224	
45	19.9	105		165		225	
46	20.2	106		166		226	
47	20.4	107		167		227	
48	20.6	108		168		228	
49	20.9	109		169		229	
50	21.2	110		170		230	
51	21.3	111		171		231	
52	21.5	112		172		232	
53	21.7	113		173		233	
54	21.9	114		174		234	
55	21.9	115		175		235	
56	22.1	116		176		236	
57	22.4	117		177		237	
58	22.4	118		178		238	
59	22.5	119		179		239	
60	22.8	120		180		240	

世田谷区公共施設等総合管理計画

一部改訂（第 2 期）【抜粋】

（令和 6 年度～令和 18 年度）

令和 6 年 3 月
世 田 谷 区

(14) 学校教育施設

施設整備等の考え方（更新時の方針等）

【小学校、中学校】

① 改築、長寿命化、保全改修の基本的な考え方

- ・年3校改築を基本として計画的な施設更新を行う。総合管理計画一部改訂（第2期）の計画期間の区分けに合わせ、前期、中期、後期それぞれの施設更新対象校を各期の初めに明らかにする。
- ・前期（令和6年度～9年度）については、各校の築年数を基本として、学習環境の確保や学校プールの共同利用、ハザードリスク、都市計画道路等の整備の観点も考慮し、各年度における施設更新に着手する学校を以下のとおりとする。

令和6年度～令和9年度において施設更新に着手する学校

年度	学校名
令和6年度	八幡小学校、砧小学校、松沢中学校
令和7年度	<u>深沢小学校</u> 、梅丘中学校、砧中学校
令和8年度	世田谷小学校、玉川小学校、駒沢中学校
令和9年度	烏山小学校、太子堂中学校、瀬田中学校

- ・計画難易度と施工難易度が高い場合に、設計施工一括発注等の活用を検討し、着実な施設更新を図る。
- ・同じ学校の各棟は（築年数が浅く更新を要さない棟を除き）同時に更新する「棟別全棟整備」を基本とする。
- ・長寿命化改修が可能なものについて、リノベーションにより築65年よりさらに30年程度使用する。
- ・将来に向けた機能の転用や、区民利用促進を見据えた設計により、柔軟性のある整備を行う。
- ・拠点となる仮設校舎の共同利用や仮設校舎を建設しない改築方法について検討を進め、工期短縮や経費抑制を図る。
- ・他の公共施設との合築による「複合化」を進めるとともに、施設の一部転用、既存施設を多用途の公共空間として共有化を図ることや、空き時間を別の機能として有効に活用する「多機能化」を徹底する。
- ・給食施設については、太子堂調理場の更新時期を捉えつつ、また、他校からの搬送の見直しを検討しつつ、改築や大規模改修の機会に自校調理化を進める。
- ・これらの学校増改築、長寿命化、保全改修の基本的な考え方については、「世田谷区学校施設長寿命化計画」の改訂に反映する。

	② 多様な教育活動の展開に対応するための施設の整備 学校の仕様共通化が図れる部分は効率的に整備を進めるとともに、各学校で魅力ある学校づくりを進めるための、各学校や地域の特色を生かした、新たな学びの創出の取組みに対応可能な施設の整備について検討を進める。 ③ 学校プール整備の考え方 学校改築にあたり、拠点となる学校に簡易温水プールを整備し、複数の近隣校で利用することにより、猛暑への対応による安定的な授業の実施等につなげるプールの共同利用に取り組む。また、共同利用と併せ、敷地の有効活用や、民間プールや区民プールの活用についても検討する。なお、自校で継続してプール運営を行う学校については、遮熱対策及び暑熱対策を進める。 ④ 地域コミュニティの核としての役割を担う施設の整備 学校と地域の連携を進めるとともに、運動場や体育館、音楽室や図書室等の地域利用が柔軟にできる施設、設備を整備する。 ⑤ 災害発生時に備えた施設の整備 大規模な災害時に避難所となる学校施設に必要な防災倉庫やマンホールトイレ等の設置を継続する。また、発災直後の情報発信や情報収集に必要となる非常用電源の配備を継続するとともに、災害時に施設のうち1室は、体調不良者や要支援者の避難に対応出来るよう、室温調節が可能となる電源や設備を確保することを基本とし、各校の状況に応じた対応を行う。 ⑥ 学校緑化と環境に配慮した施設の整備 学校敷地内のみどりを増やす取組みを継続するとともに、「世田谷区公共建築物 ZEB 指針」や策定予定の「(仮称) 公共施設省エネ・再エネ指針」に基づき、猛暑対策や環境負荷軽減に向けた施設整備を進める。 【幼稚園】 ・「区立幼稚園等集約化等計画」に基づき、5地域に1箇所へ集約化するとともに、乳幼児期の教育・保育の質の向上に向けた連携の先導・推進や、機能充実、要配慮児・医療的ケア児の対応等の機能強化を図る。 【河口湖林間学園】 ・老朽化の状況を踏まえ、施設及び移動教室事業のあり方の検討を進める。
--	--